



★ もちよこい
久慈プロジェクト

初めまして！ 私たちは久慈市を盛り上げるために活動している岩手大学の「もちよこい久慈プロジェクト」です。「久慈市をもちよこく（おもしろく）させる」ために、1・2年生の学生を中心に、メンバー5人で平成31年3月に活動を始めました。久慈市出身の学生は3人。学部もばらばらですが、みんな仲良く、楽しく活動しています。私たちは、主に2つの活動をしています。活動目的はズバリ、久慈市を活性化していくこと。活動を通じて地域を元気に、人口減少が進む中でもそれに負けずに久慈を元気に活性化するために、平成31年度は次の活動を行いました。

○久慈秋まつりのお手伝い

毎年9月中旬に行われる久慈秋まつり。各組が出す華やかな山車を見て、音頭を聞くと、久慈の秋の訪れを感じます。今年は山車組の一つである巽町組でお手伝いをしてきました。実際に山車を引くだけでなく、花貫はなぬき（民家を訪れて音頭をあげ、寄付金を集める）も体験しました。多くの人の支えがあって成り立つ

★ イチバンポシ!

ているのだと改めて実感しました。外から来た私たちを、快く受け入れてくれた巽町組の皆さん。秋まつりを守って、その魅力を広めていくために私たちができることは何か、これから考えていこうと思います。

○山根地区での活動

山根地区は人口300人ほどの自然豊かな山間地区です。久慈市外からも観光客が訪れていた「新山根温泉べっぴんの湯」が営業休止になりましたが、山根にはまだまだ多くの魅力が沢山あります！ 今年度は私たち学生が、山根について知ることを目標に「べっぴんカフェ」や「水車市（水車まつり）」のお手伝いをしました。岩手大学で10月に行われた不來方祭では、山根の郷土料理である豆腐田楽を販売しました。

また、山根でカフェを開いている地域おこし協力隊の田端さんと定期的に「やまねこ会議」を開いて、若者が山根とどう関わっていくのか話し合いました。今後は山根地区の活性化を目指し、「山根ノート」を作成する予定です。「山根ノート」とは、山根の皆さんのつながりを記し、地域のつながりをもっと広げていこうという活動です。

私たちはこれからも、自分たちにできることを探し活動の幅を広げていきたいと考えています。久慈をもちよこくするために活動する、私たちの応援をよろしくお願いします！ そして、久慈の中高生の皆さんも、私たちと久慈をおもしろくしていきませんか？



患者に寄り添う看護師に

久慈病院で看護師として働く堀越美樹さん。平成30年に採用となり、現在は病棟勤務で、日々患者さんと向き合い、退院に向けた看護を実施しています。

久慈高校を卒業後、岩手医大歯科衛生専門学校に進学。その後2年ほど市内の診療所で勤務しました。「医療について、ちゃんとした知識がなければいけない」と現場で痛感し、准看護学院に進学。卒業後、市の奨学金（市内の病院に勤務すると償還が免除）を活用し、看護学院に進学。看護師の資格を取得しました。

患者に寄り添っていける看護師になりたい！ と語る堀越さん。先輩たちの対応を見ながら、毎日が勉強の連続だそうです。「思い描いていた看護師像とは違い、医療の現場は予想以上に忙しく、患者さん一人一人と話ができなかったりすることもあります。それでも患者さんの『ありがとう』を聞くと、この職に就いて良かったと感じます」と現場の現実とやりがいについて教えてくれました。

中高生へのアドバイスを聞くと「私は、学生のときあまり勉強をしなかつたので、後々とても大変でした。学生時代から勉強する習慣を身に着けると良いと思います。皆さんそれぞれ目標に向けて大変なことがあると思いますが、頑張っ乗り越えてください！」と皆さんにエールを送りました。



Name
堀越 美樹さん
ほりこし・みき（源道 29歳）

Profile
久慈中学校 卒業
久慈高等学校 卒業
八戸市医師会立八戸准看護学院 卒業
八戸市立高等看護学院 卒業
岩手県立久慈病院 勤務



次のうち、男性がなることができない職業はどれ？

- ①産婦人科医
- ②助産師
- ③キャビンアテンダント（CA）
- ④バスガイド

true colors

さんかく

男女共同参画のすすめ

男女共同参画とは、男だから・女だからと性別で役割分担をするのではなく、個人の長所や個性など「その人らしさ」を活かして、みんなで協力していくことです



答えは…②助産師

助産師は国家資格で、妊娠から産後6～8週間までの期間を通じて、妊娠・出産の介助や新生児のケアを行うことができます。医師がいなくても助産行為ができるほか、助産院を開業することができ、女性しかなることができないと法律で定められています。現在は、全国で3万人ほどの助産師が活躍しています。

①産婦人科医③キャビンアテンダント④バスガイドは、男性も活躍しています。ちなみにアメリカやイギリスでは、男性も助産師になることが可能で、国によって制度が異なります。性別にこだわらず、自分の夢をかなえることができたら素敵ですね。

地域企業ガイド

日本武道具製造(株)

- 代表者 代表取締役社長 藤原 貴之
- 所在地 長内町第32地割18-1
- 主要製品 剣道防具、柔道着、空手着
- 創業年 平成22年
- 従業員数 46人

全国に流通している武道具を製作している日本武道具製造。ミツボシや東山堂の武道具の製造を主にしており、関連会社を含め日本の武道具の3割程度のシェアを占めています。製品の7～8割はオーダーメイド。お客にも大変好評でリピーターがたくさんいます。ミシンと手作業での縫製が仕事の中心。小さい業界ですが、久慈にしながら全国・世界を相手にしています。武道は日本の文化。世界でも柔道や空手の競技人口は増加しており、武道の普及と発展に貢献している会社です。

●ポイント 職人としての技術を身に付けられます。柔道着や剣道防具（面・胴・小手）と種類は多いのですが、早いと5年ほどで主任として製造できるようになります。男女の割合は2：8ほどで、久慈地域の高卒者も求人しています。



上/完成した剣道防具（面・胴） 左下/細かな作業は基本的に手作業で縫製します 右下/武道具などの刺しゅうを、自動で行う専用の機械